

## (2) 計画規模【③駅東】

### 《垂直避難の可能性》

- 居住誘導区域内を含む、地域内全域で床上浸水以上の浸水によって垂直避難が困難な建物が想定されることから、安全の確保を図る必要がある。
- 割合は少ないが、2階建て建物でも垂直避難が困難と想定されることに注意する必要がある。

### 《早期避難の必要性》

- 居住誘導区域内を含む、地域内全域で床上浸水によって垂直避難が困難な要配慮者施設が想定されることから、発災前に環境が整った避難先への避難に向けた体制構築が求められる。
- また、垂直避難は可能と想定されるものの、床上浸水などの浸水被害が想定される要配慮者施設も多く、衛生環境の悪化などが想定されるため、利用者の安全を確保する必要がある。

### 《避難施設の活用可能性》

- 居住誘導区域内の緊急避難場所で床上浸水が想定されており、緊急避難場所を十分に活用できない恐れがあることから、安全確保のため、命を守る避難の実現に向けた施策が求められる。

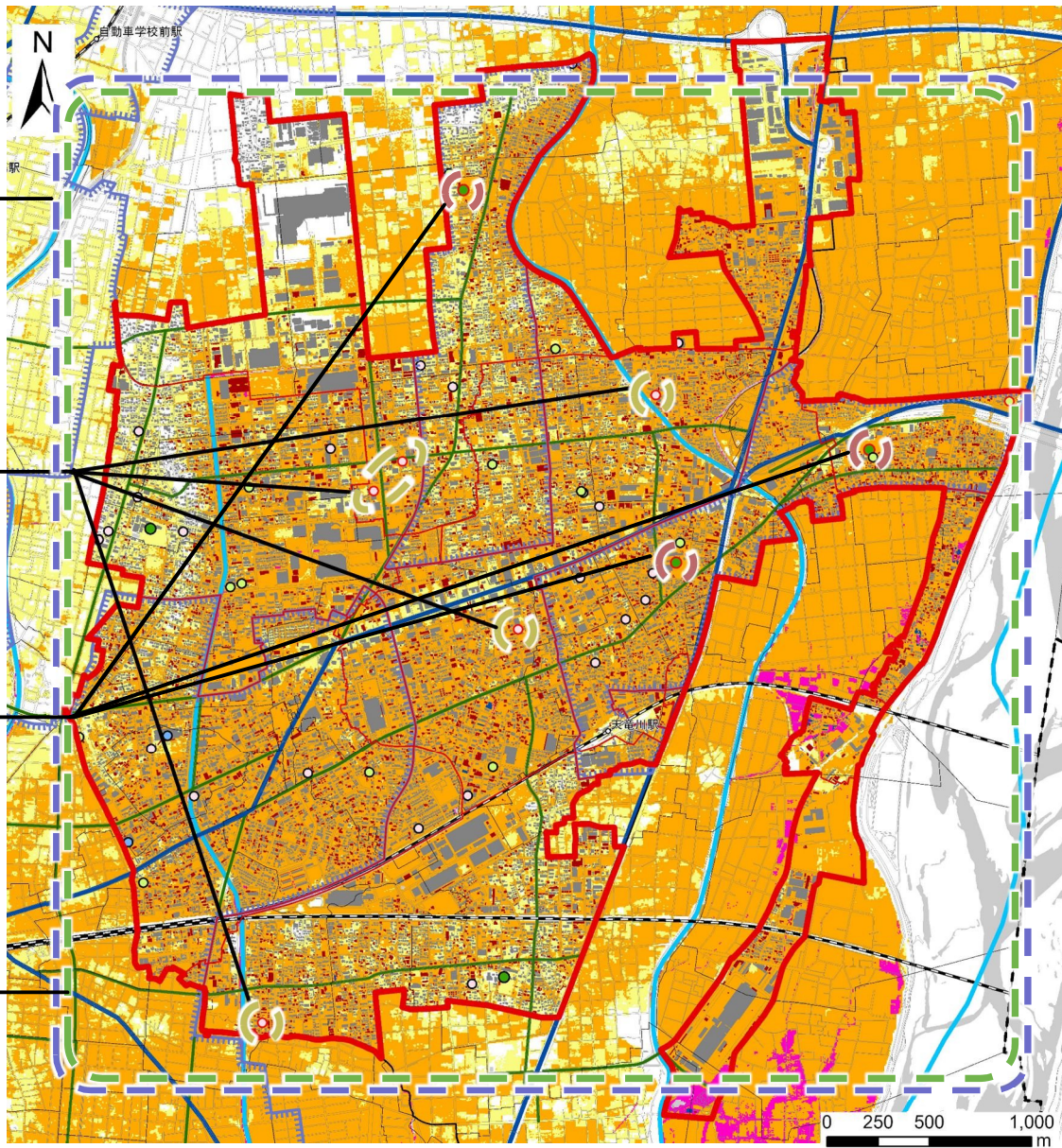
### 《避難路の活用可能性》

- 居住誘導区域内を含む、地域内全域の緊急輸送路の多くの区間で0.5m以上の浸水が想定され、緊急車両などの走行が阻害されることから、救急機能、道路機能の確保が求められる。
- 居住誘導区域内を含む、地域内全域で幹線避難路は指定されているものの、多くの区間で0.5m以上の浸水が想定され、発災後の水平避難が困難と想定されることから、安全確保のため、命を守る避難の実現に向けた施策が求められる。

### 《数値整理》

垂直避難が困難と想定される建物数	10,124 棟 (36.60%)
垂直避難が困難と想定される災害拠点病院及び二次救急病院	0 箇所
垂直避難が困難と想定される子育て施設	1 箇所
垂直避難が困難と想定される福祉施設	4 箇所
床上浸水以上の浸水が想定される緊急避難場所	3 箇所

※上表の集計では住宅以外の建物も含む



- |              |                 |                         |
|--------------|-----------------|-------------------------|
| 都市計画区域       | 緊急輸送路           | 床上浸水が想定される緊急避難場所(計画規模)  |
| 市街化区域        | 幹線避難路           | 床上浸水が想定されない緊急避難場所(計画規模) |
| 居住誘導区域       | 浸水深(計画規模)3.0m以上 | 病院(垂直避難が困難な箇所)          |
| 災害リスクの高い地域   | 浸水深(計画規模)0.5m以上 | 子育て施設(垂直避難が困難な箇所)       |
| 鉄道駅          | 浸水深(計画規模)0.5m未満 | 福祉施設(垂直避難が困難な箇所)        |
| 鉄道路線         | 垂直避難が困難な平屋      | 病院(垂直避難が可能な箇所)          |
| ハザードマップ公表河川  | 垂直避難が困難な2階建て建物  | 子育て施設(垂直避難が可能な箇所)       |
| ハザードマップ未公表河川 | その他建物           | 福祉施設(垂直避難が可能な箇所)        |

### (3) 浸水実績【⑤浜北】

#### 《垂直避難の可能性》

○居住誘導区域内を含む、地域内の一部の床上浸水相当の浸水実績区域において、床上浸水によって垂直避難が困難な建物が想定されることから、安全を確保する必要がある。

#### 《早期避難の必要性》

○床上浸水相当の浸水実績区域内に垂直避難が困難な要配慮者施設は立地していないものの、周辺で 0.5m 以上の浸水被害が確認されており、利用者の安全確保の際に注意する必要がある。

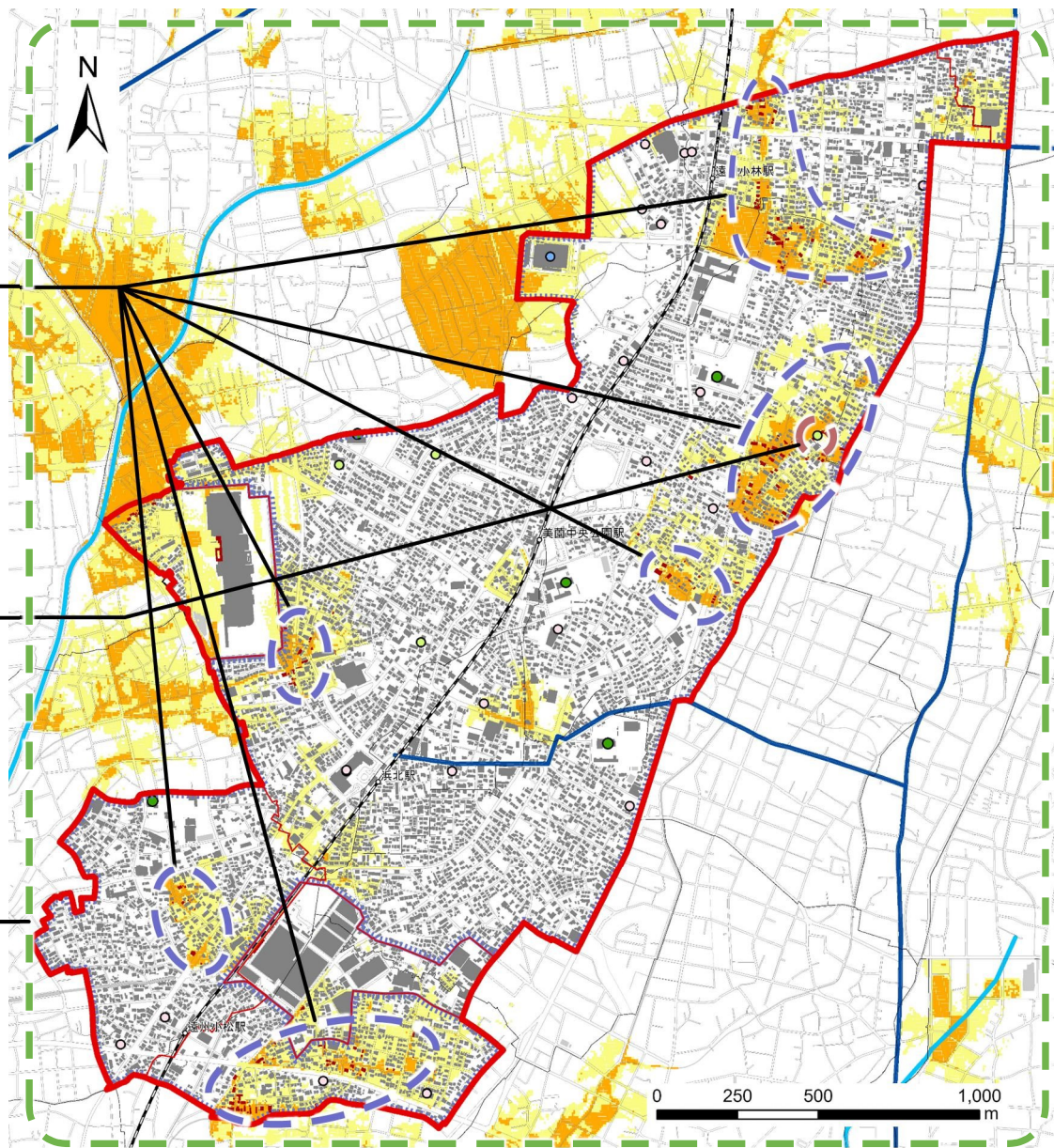
#### 《避難路の活用可能性》

○幹線避難路の指定がないため、避難に向けた環境整備が求められる。

#### 《数値整理》

垂直避難が困難と想定される建物数	343 棟 (2.56%)
垂直避難が困難と想定される災害拠点病院及び二次救急病院	0 箇所
垂直避難が困難と想定される子育て施設	0 箇所
垂直避難が困難と想定される福祉施設	0 箇所
床上浸水相当の浸水被害実績区域内の緊急避難場所	0 箇所

※上表の集計では住宅以外の建物も含む



- |  |   |  |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>--- 都市計画区域</li> <li>□ 市街化区域</li> <li>■ 災害リスクの高い地域</li> <li>○ 鉄道駅</li> <li>--- 鉄道路線</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>— 緊急輸送路</li> <li>— 幹線避難路</li> <li>■ 浸水深(浸水実績)0.5m以上</li> <li>■ 浸水深(浸水実績)0.5m未満</li> <li>■ 垂直避難が困難な平屋</li> <li>■ その他建物</li> <li>● 床上浸水相当の浸水実績区域内の緊急避難場所</li> <li>● 床上浸水相当の浸水実績区域外の緊急避難場所</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 病院(垂直避難が困難な箇所)</li> <li>● 子育て施設(垂直避難が困難な箇所)</li> <li>● 福祉施設(垂直避難が困難な箇所)</li> <li>● 病院(垂直避難が可能な箇所)</li> <li>● 子育て施設(垂直避難が可能な箇所)</li> <li>● 福祉施設(垂直避難が可能な箇所)</li> </ul> |
|--|---|--|

#### (4) 土砂災害【⑦天竜】

##### 《垂直避難の可能性》

○地域内で土砂災害が懸念される区域内に建物が多く立地しており、発災時には垂直避難で安全を確保することが困難と想定されることから、安全を確保する必要がある。

##### 《避難施設の活用可能性》

○地域内の緊急避難場所が土砂災害の懸念される区域内に立地しており、十分に安全を確保できない恐れがあることから、安全の確保のため、命を守る避難の実現に向けた施策が求められる。

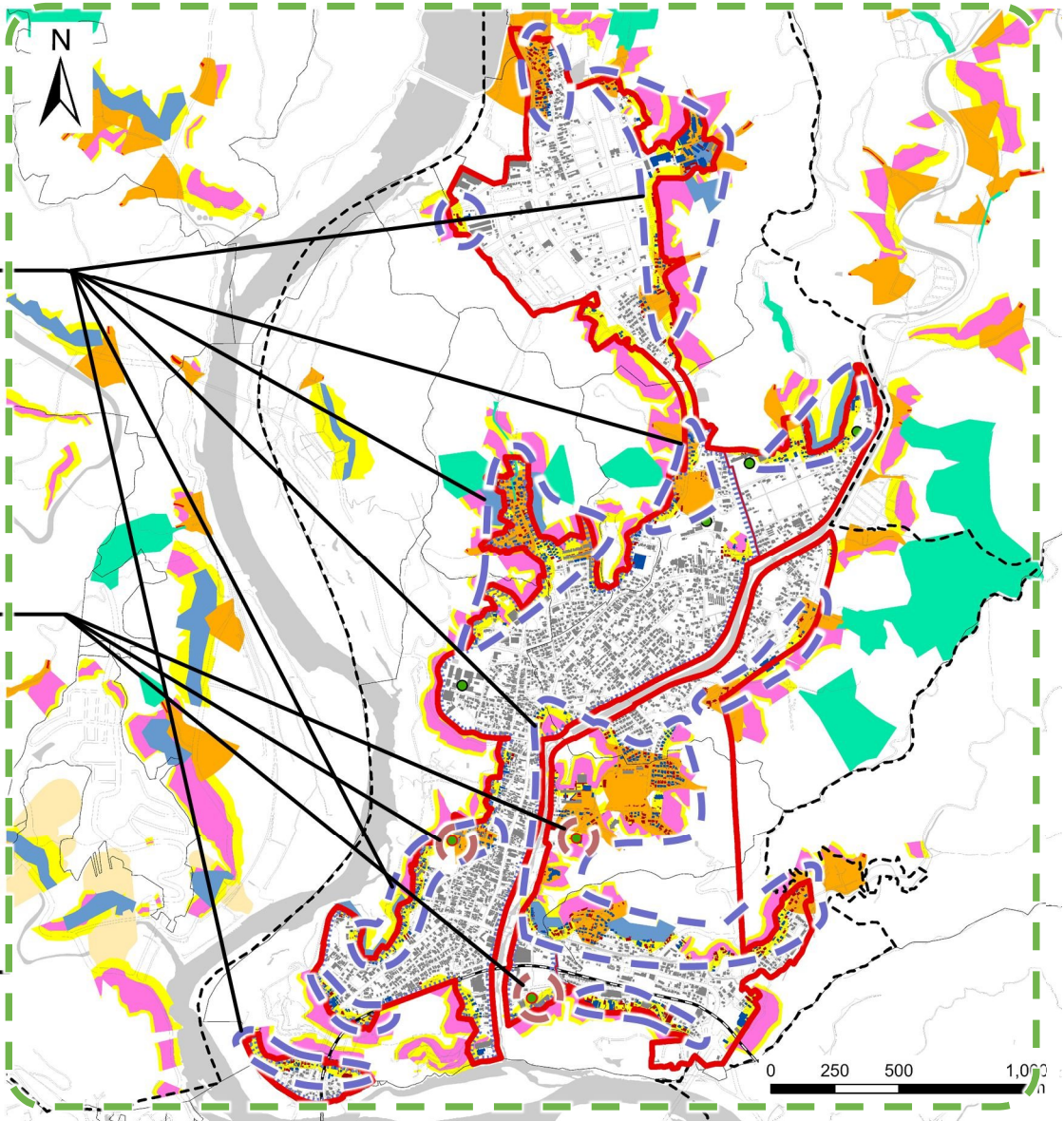
##### 《避難路の活用可能性》

○緊急輸送路の各区間で土砂災害が想定されており、緊急車両などの走行が阻害されることから、救急機能、道路機能の確保が求められる。  
○幹線避難路の指定がないため、避難に向けた環境整備が求められる。

##### 《数値整理》

土砂災害が懸念される建物数	2,075 棟 (28.74%)
土砂災害が懸念される緊急避難場所	3 箇所

※上表の集計では住宅以外の建物も含む



都市計画区域	<b>地すべり防止区域</b>	<b>地すべり</b>
市街化区域	国土交通省	土砂災害 警戒区域
居住誘導区域	農村振興局	垂直避難が困難な平屋
災害リスクの高い地域	林野庁	垂直避難が困難な2階建て建物
鉄道駅	<b>土石流</b>	その他建物
鉄道路線	土砂災害(特別)警戒区域	土砂災害が想定される緊急避難場所
砂防指定地	土砂災害 警戒区域	土砂災害が想定されない緊急避難場所
急傾斜地崩壊危険区域	<b>急傾斜地の崩壊</b>	
	土砂災害(特別)警戒区域	
	土砂災害 警戒区域	

(5) 家屋倒壊等氾濫想定区域【⑧細江】

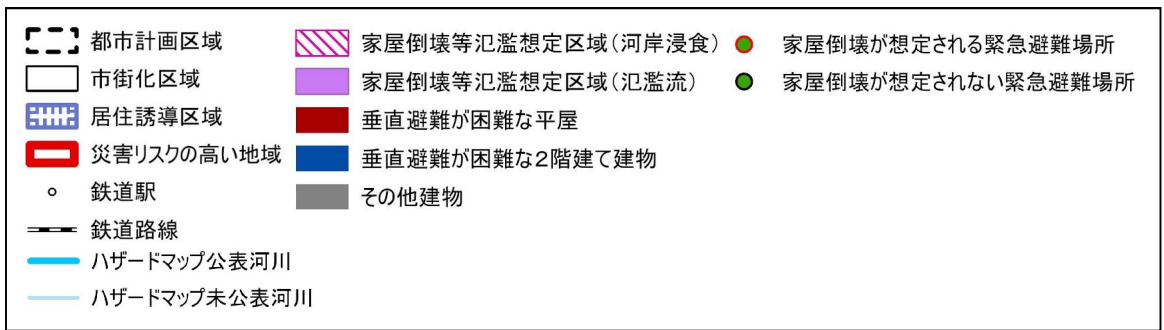
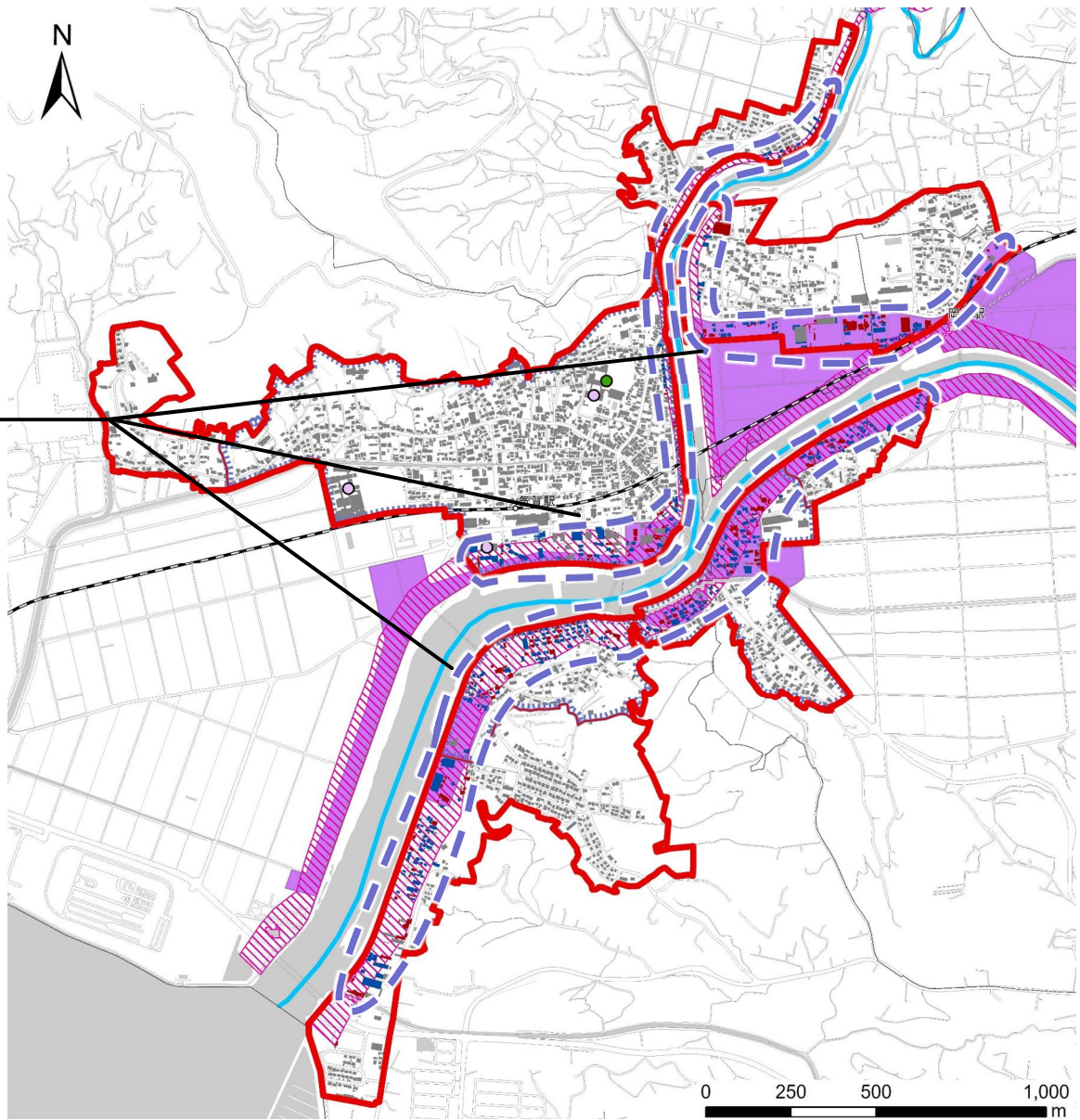
《垂直避難の可能性》

- 居住誘導区域内を含む、地域内の河川沿いで河岸浸食、氾濫流による家屋倒壊などが想定されており、垂直避難は困難と想定されることから、安全を確保する必要がある。
- 河岸浸食による家屋倒壊などは建物の構造にかかわらず、倒壊などが想定されるため、安全な場所への避難が求められる。
- 氾濫流による家屋倒壊などは氾濫による木造建物の流出などが想定されるため、安全な場所への避難が求められる。

《数値整理》

家屋倒壊などが想定される建物数	880 棟 (19.74%)
家屋倒壊等氾濫想定区域に立地する緊急避難場所	0 箇所

※上表の集計では住宅以外の建物も含む



(参考) 表 水災害リスクの高い地域の災害リスクの状況 (1/2)

視点	課題	14																
		1 駅北	2 駅南	3 駅東	4 駅西	5 浜北	6 中瀬	7 天竜	8 細江	9 可美	10 篠原	11 笠井	12 引佐	13 三ヶ日	14 五島			
浸水実績	垂直避難	平屋建ての建物の垂直避難が困難。	総数	20,548	29,230	27,658	18,821	13,421	2,441	7,221	4,459	7,578	8,244	2,580	2,054	1,968	1,790	
			被害想定	234	152	387	226	343	0	198	79	199	43	22	0	0	0	0
	2階建ての建物の垂直避難が困難。	総数	20,548	29,230	27,658	18,821	13,421	2,441	7,221	4,459	7,578	8,244	2,580	2,054	1,968	1,790		
		被害想定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	早期避難の必要性	要配慮者施設の垂直避難は可能と想定されるが、環境が整った施設への避難が望ましい。	合計	67	59	44	46	29	0	11	9	7	7	8	8	7	3	
			被害想定	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			割合	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
			病院	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			被害想定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			割合	0.0%	—	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		子育て	16	21	15	15	4	0	5	3	1	6	1	3	3	3	3	
		被害想定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		福祉	50	38	28	30	24	0	6	6	6	1	7	5	4	0	0	
		被害想定	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		割合	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	要配慮者施設の垂直避難が困難で早期に環境が整った施設への避難が望ましい。	合計	67	59	44	46	29	0	11	9	7	7	8	8	7	3		
		被害想定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		病院	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
被害想定		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
割合		0.0%	—	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
子育て	16	21	15	15	4	0	5	3	1	6	1	3	3	3				
被害想定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
福祉	50	38	28	30	24	0	6	6	6	1	7	5	4	0				
被害想定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
避難施設として活用可能か	緊急避難場所、床上浸水以上の浸水が想定される。	総数	7	11	5	9	5	1	7	1	2	2	2	1	2	0		
被害想定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—			
避難路として活用可能か	緊急車両等の走行が阻害される。	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	—		
	発災後の水平非難が困難。	○	○	○	○	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—		
計画規模	垂直避難	平屋建ての建物の垂直避難が困難。	総数	20,548	29,230	27,658	18,821	13,421	2,441	7,221	4,459	7,578	8,244	2,580	2,054	1,968	1,790	
			被害想定	771	6,079	10,078	0	54	346	115	550	0	0	302	61	314	655	
	割合	3.8%	20.8%	36.4%	0.0%	0.4%	14.2%	1.6%	12.3%	0.0%	0.0%	11.7%	3.0%	16.0%	36.6%			
	2階建ての建物の垂直避難が困難。	総数	20,548	29,230	27,658	18,821	13,421	2,441	7,221	4,459	7,578	8,244	2,580	2,054	1,968	1,790		
		被害想定	0	13	46	0	0	1	55	0	0	0	0	0	0	0		
	割合	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	早期避難の必要性	要配慮者施設の垂直避難は可能と想定されるが、環境が整った施設への避難が望ましい。	合計	67	59	44	46	29	0	11	9	7	7	8	8	7	3	
			被害想定	1	22	25	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	
			割合	1.5%	37.3%	56.8%	0.0%	0.0%	—	0.0%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		病院	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
		被害想定	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		割合	0.0%	—	—	0.0%	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	子育て	16	21	15	15	4	0	5	3	1	6	1	3	3	3			
	被害想定	1	9	10	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0			
	割合	6.3%	42.9%	66.7%	0.0%	0.0%	—	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	福祉	50	38	28	30	24	0	6	6	6	1	7	5	4	0			
	被害想定	0	13	14	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0			
	割合	0.0%	34.2%	50.0%	0.0%	0.0%	—	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	要配慮者施設の垂直避難が困難で早期に環境が整った施設への避難が望ましい。	合計	67	59	44	46	29	0	11	9	7	7	8	8	7	3		
		被害想定	0	6	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3		
割合		0.0%	10.2%	11.4%	0.0%	0.0%	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%			
病院		1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
被害想定		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
割合		0.0%	—	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
子育て	16	21	15	15	4	0	5	3	1	6	1	3	3	3				
被害想定	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3				
割合	0.0%	14.3%	6.7%	0.0%	0.0%	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%				
福祉	50	38	28	30	24	0	6	6	6	1	7	5	4	0				
被害想定	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
割合	0.0%	7.9%	14.3%	0.0%	0.0%	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—				
避難施設として活用可能か	緊急避難場所、床上浸水以上の浸水が想定される。	総数	7	11	5	9	5	1	7	1	2	2	2	1	2	0		
被害想定	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
割合	0.0%	18.2%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—			
避難路として活用可能か	緊急車両等の走行が阻害される。	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	—			
	発災後の水平非難が困難。	○	○	○	×	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—			

※上表の集計では住宅以外の建物も含む

※上表の病院は災害拠点病院及び二次救急病院を集計したもの

(参考) 表 水災害リスクの高い地域の災害リスクの状況 (2/2)

視点	課題	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14																
		駅北	駅南	駅東	駅西	浜北	中瀬	天竜	細江	可美	篠原	笠井	引佐	三ヶ日	五島			
想定最大規模	垂直避難	平屋建ての建物の垂直避難が困難。	総数	20,548	29,230	27,658	18,821	13,421	2,441	7,221	4,459	7,578	8,244	2,580	1,968	1,790		
			被害想定	7,344	11,946	12,301	2,732	6,714	1,033	3,447	1,520	3,542	3,100	1,332	168	471	925	
			割合	35.7%	40.9%	44.5%	14.5%	50.0%	42.3%	47.7%	34.1%	46.7%	37.6%	51.6%	8.2%	23.9%	51.7%	
		2階建ての建物の垂直避難が困難。	総数	20,548	29,230	27,658	18,821	13,421	2,441	7,221	4,459	7,578	8,244	2,580	2,054	1,968	1,790	
			被害想定	2,220	5,936	12,305	99	26	507	1,504	500	57	2	192	2	6	5	
			割合	10.8%	20.3%	44.5%	0.5%	0.2%	20.8%	20.8%	11.2%	0.8%	0.0%	7.4%	0.1%	0.3%	0.3%	
	早期避難の必要性	要配慮者施設の垂直避難は可能と想定されるが、環境が整った施設への避難が望ましい。	合計	総数	67	59	44	46	29	0	11	9	7	8	8	7	3	
				被害想定	47	35	15	12	18	0	3	7	2	2	6	0	1	0
				割合	70.1%	59.3%	34.1%	26.1%	62.1%	—	27.3%	77.8%	28.6%	28.6%	75.0%	0.0%	14.3%	0.0%
			病院	総数	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				被害想定	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				割合	100.0%	—	100.0%	0.0%	100.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		子育て	総数	16	21	15	15	4	0	5	3	1	6	1	3	3	3	
			被害想定	12	13	5	2	2	0	1	2	0	2	1	0	1	0	
			割合	75.0%	61.9%	33.3%	13.3%	50.0%	—	20.0%	66.7%	0.0%	33.3%	100.0%	0.0%	33.3%	0.0%	
		福祉	総数	50	38	28	30	24	0	6	6	6	1	7	5	4	0	
			被害想定	34	22	9	10	15	0	2	5	2	0	5	0	0	0	
			割合	68.0%	57.9%	32.1%	33.3%	62.5%	—	33.3%	83.3%	33.3%	0.0%	71.4%	0.0%	0.0%	—	
		要配慮者施設の垂直避難が困難で早期に環境が整った施設への避難が望ましい。	合計	総数	67	59	44	46	29	0	11	9	7	8	8	7	3	
				被害想定	13	24	29	6	10	0	6	1	3	2	2	0	1	3
				割合	19.4%	40.7%	65.9%	13.0%	34.5%	—	54.5%	11.1%	42.9%	28.6%	25.0%	0.0%	14.3%	100.0%
			病院	総数	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				被害想定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				割合	0.0%	—	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子育て	総数	16	21	15	15	4	0	5	3	1	6	1	3	3	3			
	被害想定	1	8	10	1	2	0	3	0	0	1	0	0	0	3			
	割合	6.3%	38.1%	66.7%	6.7%	50.0%	—	60.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%			
福祉	総数	50	38	28	30	24	0	6	6	6	1	7	5	4	0			
	被害想定	12	16	19	5	8	0	3	1	3	1	2	0	1	0			
	割合	24.0%	42.1%	67.9%	16.7%	33.3%	—	50.0%	16.7%	50.0%	100.0%	28.6%	0.0%	25.0%	—			
避難施設として活用可能か	緊急避難場所、床上浸水以上の浸水が想定される。	総数	7	11	5	9	5	1	7	1	2	2	2	1	2	0		
		被害想定	7	11	5	3	5	1	5	0	2	2	2	0	0	0		
		割合	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%	100.0%	100.0%	71.4%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	—		
	緊急避難場所、3日以上浸水継続リスクがある。	総数	7	11	5	9	5	1	7	1	2	2	2	1	2	0		
		被害想定	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0		
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—		
	家屋倒壊等氾濫想定区域に緊急避難場所が立地	総数	7	11	5	9	5	1	7	1	2	2	2	1	2	0		
		被害想定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—		
避難路として活用可能か	緊急車両等の走行が阻害される。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—			
	発災後の水平非難が困難。	○	○	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—			
災害砂	避難施設として活用可能か	総数	7	11	5	9	5	1	7	1	2	2	2	1	2	0		
		被害想定	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0		
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—		
その他	避難路として活用可能か	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○			
	その他	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○			

※上表の集計では住宅以外の建物も含む

※上表の病院は災害拠点病院及び二次救急病院を集計したもの